

令和5年1月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和5年1月19日（木）午後2時30分～午後3時07分
2. 場 所 市役所新館4階 第1委員会室
3. 出席者
教育長 大下 達哉 教育長職務代理者 植原 和彦 委員 谷口 馨
委員 野口 和江 委員 和田 郁美
4. 事務局出席者
教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 片山 繁一／生涯学習部長 牟田 親也
総務課長 井上 慎二／学校適正配置推進課長 池内 正彰／学校給食課長 濱崎 賢治
産業高校学務課長 田中 幸博／学校教育課長 松本 秀規／人権教育課長 八幡 泰輔
生涯学習課長 井出 英明／スポーツ振興課長 庄司 彰義
郷土文化課長 西村 久美子／図書館長 橋本 純／学校管理課管理担当長 高松 義一
総務課主幹 柿花 真紀子

開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に野口委員を指名した。
傍聴人25名。

○大下教育長

ただいまから、1月定例教育委員会会議を開催します。

報告第1号 【小中学校再編】教育委員会への市長提案について

○大下教育長

報告第1号について、説明をお願いします。

○池内学校適正配置推進課長

報告第1号につきましては、【小中学校再編】教育委員会への市長提案についてです。

令和5年1月4日、岸和田市新年互礼会において、市長が、小中学校再編の内容について発言をされました。小中学校の再編について、これまで教育委員会で取り組んできました経過と合わせて、ご説明させていただきます。

全国的な人口減少・少子化が問題となる中、本市においても児童生徒数がピーク時の約半数にまで減少し、今後も更に減少していくと予測しています。

それに伴い、学校の小規模化が進行しており、小学校ではクラス替えができない単学級の学年が増加し、中学校では、配置できる教員数に制限が生じるなど、教育環境や学校運営に様々な課題が生じています。

これらの課題を解消し、子どもたちに「より良い教育環境の整備」と「学校教育の充実」を図るため、令和2年3月に策定した「岸和田市立小・中学校の適正規模及び適正配置基本方針」を基に、同年11月に「岸和田市立小・中学校適正規模及び適正配置実施計画（第1期）（案）」を策定し、議会や市民等にご提示してきたところです。

これらの取組は、市民や地域のご理解なしには進められないとの考えから、これまで地域説明会や校区懇談会等で、丁寧にご説明するとともに、意見交換を図ることにより、ご理解の醸成に努めてきたところです。

しかしながら、小学校がなくなれば地域コミュニティが崩れ、地域が廃れてしまう、学校は小規模の方が良く、小中一貫教育も必要ない、さらには、既存中学校の校地・校舎を活用することには無理があり、十分な校舎配置やグラウンドの確保ができないといった反対意見があり、特に一部の地域では、校区懇談会にも応じてもらうことができず、計画が進められない状況となっており、この状況を含めて、随時、教育長から市長にご報告してきたところです。

このような中、去る1月4日に開催されました「岸和田市新年互礼会」において、市長から、小中学校の再編の件で発言がありました。

発言の主な内容は、山手の方で、新たな場所に小中一貫校を設置してはどうかということと、一旦は、既存の小中学校は廃校にはせずに、既存校と新たな小中一貫校の、どちらかを選択できるようにしてもらうこと、そして、これらの考えを市教育委員会に提案して協議を進めていきたいとの内容でした。

今回、教育委員の皆様にも、このような内容について市長から教育委員会に提案があったことをご報告するとともに、この提案を受けて、新たな小中一貫校について教育委員会事務局で作業に着手して良いか、お尋ねするものです。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

先般の市長の互礼会でのご発言については、私自身も漏れ伝え聞いている状況です。課長から説明をいただいた中で、新校と既存校とどちらも選択できるとありましたが、そうなる、どちらかの学校がより小規模化するというところもあるかと思われまいます。そのあたりは教育委員会として、教育上どのように対応していこうとお考えでしょうか。

○池内学校適正配置推進課長

既存校を残したままとなりますと、その学校がより小規模化し、課題がより大きく顕在化することになると思います。市や教育委員会が責任をもって対応していく必要があると思っています。

○大下教育長

提案を受けたばかりの状況ですが、そのような懸念がある事は、委員ご指摘のとおりであると思います。仮にお受けするとすれば、その点について教育委員会として慎重に判断してまいります。

○和田委員

現在の計画よりも通学範囲が広がるとは思いますが、それはどのように対応していただけるのでしょうか。

○池内学校適正配置推進課長

児童生徒の通学につきましては、安全性や利便性を確保するためにも、公費でスクールバスの配置が必須になると考えています。

○大下教育長

現計画でも再編によって通学区域が広がりますので、一定の基準を設けた上で、必要な児童生徒へは個人負担なしでスクールバスを配置するというを市長とも合意しています。本件についても同様に進めていこうと思っていますし、予め私と市長との協議の中でも確認させていただいている事項です。

○野口委員

これまで、計画を立て、基本的には中学校区単位に適正規模・適正配置を進めていこうということで、地域の皆様にも丁寧に説明をさせていただいて、ここまで来たと思っています。今回の市長の提案で行きますと、その中学校単位というのを一旦外してさらに大きな範囲になってくるということになりますので、もう一度地域の皆様のご理解を得ていく手順が必要ではないかと思いますが、それについてはいかがでしょうか。

○池内学校適正配置推進課長

今回の市長のお考えになりますと、これまで進めてきた内容からは大きな方針変更となります。これまでの校区懇談会では、今の実施計画の内容で進めてきましたが、今回の市長の考え方についても新たに校区懇談会で丁寧に皆様に説明にあがらなければいけないと考えています。その上で、その懇談会の中で、可能であれば地域の皆様と一緒に意見交換をさせていただき、より良い学校を子ども達のために作っていくことができればと思っています。

○谷口委員

質問ではなく意見ですが、今、野口委員が言われたように、かなり大きな計画変更になるかと思っています。これまでの教育委員会会議でも、校区懇談会に応じて貰えないところがあるという報告も常に受けていて、心配をしていたところです。何よりも第一義的に子ども達の教育環境が整備されることが優先されることですので、小田原評定のようにならないよう、子ども達のために何が出来るかを考えながら進めていただけたら有難いと思います。宜しくお願いします。

○池内学校適正配置推進課長

はい、そのように進めていきたいと思っています。

○和田委員

今後のスケジュールはどのようになっていくのでしょうか。

○池内学校適正配置推進課長

立地場所の選定や、対象校区、学校規模の設定作業などが課題として生じてまいります、その内容についても、まさにこれから協議・調整が必要な事項となっており、現段階でこの場で詳細なスケジュールについてお示しすることができません。しかしながら、教育委員からいただきましたことについても、教育委員会事務局内でまずはしっかりと議論していきたいと思っています。

○大下教育長

正直なところ、大規模な小中一貫校が作れる適地があるのかといえば、すぐに用意できる土

地はなかなかないものですから、立地場所の選定については、市の協力も得て進めていかねばならず、スケジュールが見えにくい状況です。この間も、学校の小規模化が進み、課題が顕在化し、子ども達の良好な教育環境を守る上ではスピード感を持って対応していかねばならないので、もし本日も承認いただけるのであれば、事務局でその作業を迅速に進めていきたいというように思っています。

○植原教育長職務代理者

本日この内容を目にし、ただただ驚いているという状況ですが、美しいものを建てるということも良いことではあるかなとも思ったりもします。新たな計画ということになればまた見えてくる課題もあるかと思えます。その際に改めて意見を述べたいと思えますので、本日時点では意見は控えさせていただければと思います。ただ進めていかねば何も見えてこないと思いますので、先ほど教育長がおっしゃられたように、協議し原案を作成いただいたものをまたしっかりと見させていただきたいと思えます。

○大下教育長

他にご意見、ご質問はよろしいでしょうか。市長から教育委員会に提案をいただきましたので、その提案をお受けして、まずはこれから教育委員会で作業を進めていくことについて、ご賛同いただけますでしょうか。

○他教育委員

賛同します。

○大下教育長

では、今後、教育委員会会議で進捗状況につきご報告をしながら、作業を進めてまいります。

報告第2号 令和4年度 岸和田市中学校総合体育大会（冬季）の結果について

○大下教育長

報告第2号について、説明をお願いします。

○松本学校教育課長

報告第2号につきましては、令和4年度 岸和田市中学校総合体育大会（冬季）の結果についてです。

日時は、令和4年12月24日（土）～26日（月）実施で、場所は各種目、ご覧の通りとなっております。別紙をご覧ください。各種目の結果はご覧の通りとなっております。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

今年も行けませんでした、コロナの前には駅伝競走など見せて貰いに行きました。今年は、男子9校12チーム、女子8校13チームと、たくさん参加できて良かったと思えます。以前から気になっているのですが、学校によっては全コース走れるような部員の確保ができず、オブザーバー参加となっている学校もあったかと思えます。今年度もそのような学校はあったのでしょうか。

○松本学校教育課長

本年度はそのような学校があったとの報告は聞いておりません。1校の学校から数チーム出

ている学校もありました。

○植原教育長職務代理者

女子ソフトボールで、3校や2校の合同チームがあります。合同となっていますが、練習はどのような方法で行っているのでしょうか。

○松本学校教育課長

他市では拠点校を置いて合同チームを作っている例もありますが、岸和田市では、毎年部員数も変わりますので、試合前に人数を確認し、合同チームとして試合出場をしています。試合に向けての合同練習も行いますが、毎日合同で練習をしているということではありません。

○大下教育長

合同チームを作っている学校は、従前はそれぞれの学校で1チームを編成できていましたが、生徒が少なくなったので、今は合同チームを作って出場しているということでしょうか。

○松本学校教育課長

はい、そうです。

○大下教育長

委員の皆様への情報提供となりますが、部活動の地域移行についての外部化という動きについて、元々スポーツ庁及び文化庁では、令和5年度から3カ年を集中取組期間としていました。しかし、国の方針も途中で変わり、3カ年に限ったものでなく段階的な移行をとということとなりました。国の制度設計や予算についても不明な点がまだございます。大阪府教育庁に尋ねましたところ、1月30日に中央省庁から都道府県へ説明があるとのことでした。その情報が伝わり次第、各委員へも情報提供させていただく予定です。こういった動きに対し、市の教育委員会は積極的に対応していきたいと考えているところです。

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第3号 市立公民館分館の臨時休館について

報告第4号 春木図書館の臨時休館について

○大下教育長

報告第3号及び関連する第4号について、説明をお願いします。

○井出生涯学習課長

報告第3号につきましては、市立公民館分館の臨時休館についてです。

春木にあるラパーク関連施設が電気設備法定点検を一斉実施するため停電となります。従いまして、令和5年2月15日（水）を臨時休館とします。周知方法は、令和5年1月4日付で告示を行ったほか、広報きしわだ2月号への掲載、館内掲示などです。

○橋本図書館長

報告第4号につきましては、春木図書館の臨時休館についてです。

先ほどの生涯学習課の報告第3号と全く同じ趣旨でございますが、ラパーク岸和田の電気設備点検のため、令和5年2月15日（水）に春木図書館を臨時休館いたします。ラパーク岸和田では、例年2月の第3水曜日を電気設備の点検日とすることが多いとお聞きしております。

周知方法は、令和5年1月4日付で告示を行ったほか、広報きしわだ2月号への掲載等、生涯学習課とも歩調を合わせて行ってまいります。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第5号 第30回KIX泉州国際マラソン、第9回親子ランニングについて

○大下教育長

報告第5号について、説明をお願いします。

○庄司スポーツ振興課長

報告第5号につきましては、第30回KIX泉州国際マラソン、第9回親子ランニングについてです。

第30回KIX泉州国際マラソンは泉州地域の活性化、国際化を目的にマラソン大会を開催し、泉州地域のスポーツ及び文化振興を図るものです。昨年と一昨年はオンライン方式で実施しましたので、3年ぶりの大会開催となります。

2月12日開催で、10時半にスタート、フルマラソンと20.4kmのチャレンジランの部があり、同時にスタートします。スタート地点は浜寺公園で、フルマラソンはりんくう公園まで、チャレンジランは岸和田城がゴールとなります。フルマラソンが定員5,000人に対して、エントリー数3,452人、チャレンジランが、定員を上回る1,286人のエントリーとなっていますが、全員参加できると聞いています。

また、第9回親子ランニングにつきまして、フルマラソンのゴール付近であるりんくう公園内で行われます。就学前幼児は1km、小学1年から3年生は、1kmまたは2km、子どもと保護者の2名1組で一緒に参加するものです。

別紙に開催要項の詳細をつけています。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

久々の開催ということですが、過去に招待選手として著名な方も来られていました。今年はどうでしょうか。

○庄司スポーツ振興課長

パンフレットで詳細を確認できていませんが、吉本興業株式会社所属の芸人さんや大学生など、実力のある選手が招待されていると聞いています。

○植原教育長職務代理者

コロナ対策はどうされるのでしょうか。

○庄司スポーツ振興課長

今回の参加料が、以前の1万円から6千円高くなっています。その理由としまして、コロナ感染対策ということがあります。受付に検温器や消毒液の設置、各所のスタッフの増員など、一連の対応を行っているという聞いています。

○大下教育長

マラソン大会は、スポーツ振興という観点に加えて、経済的効果、地域の活性化にも貢献するというところで、それをまちづくりにも活かしていこうという動きがあります。今回、チャレ

ンジランは岸和田城が終点となっています。そこで何か経済の振興にもつながるような企画とかされているのでしょうか。教育委員会の所管とは異なるのかもしれませんが。

○庄司スポーツ振興課長

観光課が担当部署となります。以前は、商店街などで利用できる割引券の配布の検討をしたりゴール地点では出店をしたりしたということ聞いています

○大下教育長

大阪マラソンも咲洲庁舎がもともとゴール地点でしたが、経済効果を高めようということで、あえて市の中心部である大阪城公園をゴールとしたという工夫がなされた経過があります。KIX泉州国際マラソンについても、岸和田の活性化に繋がるよう、観光課とも連携しながら、是非取り組んでいただけたらと思います。

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第6号 岸和田カンカンベイサイドモールにおけるパネル展示について

○大下教育長

報告第6号について、説明をお願いします。

○西村郷土文化課長

報告第6号につきましては、岸和田カンカンベイサイドモールにおけるパネル展示についてです。

展示は2テーマあります。一つは「岸和田の市制施行とその後～市制施行100周年を記念して」、もう一つは現在岸和田城天守閣で開催している特別展「岸和田と岡部家」の紹介である「特別展【岸和田と岡部家】をご紹介」です。会期は令和4年12月23日（金）から令和5年2月12日（日）です。会場は岸和田カンカンベイサイドモールWEST2階のスペースです。

趣旨は市制施行100周年を記念してのパネル展示です。大正11年施行当初の岸和田市域から現在の岸和田市域への変遷や公会堂建設、他にも市章や市歌の決定、記念博覧会の開催など施行後に実施された事業、岸和田市役所の移り変わりなど、100年の足跡を古写真や絵ハガキ等で紹介しており、郷土への関心を高めたいと考えています。また、特別展【岸和田と岡部家】の紹介コーナーでは、特別展の追加展示としている、丸子槍、これは徳川軍の危機を救ったとされる岡部長盛所用の槍ですが、この槍の写真や今川家、武田家、徳川家からの感謝状など現在岸和田城で開催されている特別展【岸和田と岡部家】の資料をいくつか紹介し、岸和田藩主岡部家への関心を高め、特別展への来場につなげたいと考えています。

主な展示資料としては、市制実施運動の最初の動きとされる「岸和田市制促進演説会」から市制施行に至るまでに開催された会議等の年表、丸子槍の写真ほか20点です。周知方法は、ホームページ掲載、丸子槍追加展示については報道提供をさせていただきました。資料を添付させていただいています。一つは大正11年の市制施行時の行政区画です。ここには記載していませんが、明治45年に岸和田町・岸和田浜町・岸和田村・沼野村が合併して岸和田町となり、大正11年に町制を廃止してこの行政区画となり、岸和田市として市制施行されました。その後は、下に記載しているとおり、13年には土生郷村を、15年には有真香村を編入、17年には、春木町、山直町、南掃守村と合併し、昭和23年には山滝村を編入し、現在の岸和田市域となりました。当展示ではこの変遷をパネルで分かりやすく紹介しています。裏面は、丸子

槍の写真となります。1585年、徳川家と真田家の信州信濃での丸子城での戦いにおいて、徳川軍は劣勢だったのですが、岡部長盛、初代藩主の父ですが、この長盛が奮戦し徳川の危機を救いました。徳川家康から感謝状ももらっています。その時使われた槍がこの槍です。本物です。岡部家の現ご当主からは是非展示してほしいというご依頼があり、岸和田城において昨年12月21日より追加展示しています。

他には、特別展関連講座のお知らせです。2月11日(土)午後1時半よりだんじり会館で開催します。テーマは「木造阿弥陀如来坐像の世界」で昨年度クラウドファンディングにより修理されたものです。岡部家ゆかりの仏像の奥深い歴史を、修理いただいた公益財団法人美術院の副工房長により解説いただきます。広報きしわだ2月号、ホームページに掲載し、ポスターちらしを配布します。ぜひご参加ください。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

今年には市制施行100周年ということで、様々なイベントが開催されています。今回のパネル展示は、岸和田の歴史、特に岡部家との兼ね合いということですが、今NHKの大河ドラマでも徳川家康時代がクローズアップされるなどしています。岸和田城と岸和田カンカンベイサイドモールでやっているという事ですが、できたら郷土愛を育てる意味で、小学生には難しい内容かもしれませんので、中学生のいるところへ出かけていき展示等を行うなどして、郷土に誇りを持ってもらえるよう歴史を教えて貰えれば良いと思います。かつて、岸和田は泉州の雄と呼ばれており、岸和田生まれでない私は強い憧れを持ち、その流れで今この地に住んでいます。だんじりだけではない、こういった深い歴史があるんだということが郷土愛を育てる事にも繋がると思いますので、待っているだけではなく出掛けて行き展示するという方法も、考案いただければ有難いと思います。

○西村郷土文化課長

今頂戴しましたご意見につき、課内でも検討をしていたところです。岸和田カンカンベイサイドモールでの展示が2月12日で終わりますが、可能であれば、次は各市民センターで継続して、展示パネルを使用して展示できないかと検討しているところです。

○大下教育長

パネルの所有権は、岸和田市教育委員会に所属しているということでしょうか。

○西村郷土文化課長

はい。丸子の槍の写真は、提供者の許可が必要になりますが、他のパネルは教育委員会の所管ですので、市民センターや学校などでの展示は可能です。

○和田委員

木造阿弥陀如来坐像講座は、申込みが必要でしょうか。

○西村郷土文化課長

資料に記載できていませんが、2月6日から電話受付等を行う予定で、定員30名の先着順となっています。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

次に、議案の審議に移ります。

議案第1号 補正予算について（事業費補正）

○大下教育長

議案第1号について、説明をお願いします。

○井上総務課長

議案第1号につきましては、補正予算について（事業費補正）です。

ご寄附をいただきましたので、令和5年第1回定例市議会に歳入・歳出補正予算を審議いただくためのものです。

匿名の個人の方から、金100,000円を中央小学校消耗品費等に充当のためということで令和4年12月20日にご寄附いただきました。

歳入歳出予算補正見積書は、別紙のとおりです。歳入として、指定寄附金として10万円を計上し、歳出として基金積立を行い、令和5年度当初予算で反映させていく予定です。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

質問ではないですが、寄附者の方には長年に亘って寄附をいただいていると思います。本当に有難い事であると思います。有意義に中央小学校の方で使っていただきたいと思います。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

ないようですので、これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後3時07分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員